

平成 20 年 5 月 7 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号  
六本木ヒルズ森タワー 37 階  
F C レジデンシャル投資法人  
代表者名 執行役員 金子 幸司  
(コード番号: 8975)

資産運用会社名

ファンドクリエーション不動産投信株式会社  
代表者名 代表取締役 金子 幸司  
問合せ先 取締役投資管理部長 村上 隆二  
TEL. 03-5413-5348

第 5 期（平成 20 年 4 月期）運用状況の予想の修正に関するお知らせ

FC レジデンシャル投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、平成 20 年 3 月 27 日付で公表した第 5 期（平成 20 年 4 月期）運用状況の予想について、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 4 月期（平成 19 年 11 月 1 日～平成 20 年 4 月 30 日）運用状況の予想の修正

|                                | 営業収益         | 営業利益       | 経常利益       | 当期純利益      | 一口当たり<br>分配金 | 一口当たり<br>利益超過<br>分配金 |
|--------------------------------|--------------|------------|------------|------------|--------------|----------------------|
| 前回予想 (A)<br>(平成 20 年 3 月 27 日) | 百万円<br>1,373 | 百万円<br>977 | 百万円<br>855 | 百万円<br>499 | 円<br>15,267  | —                    |
| 今回修正予想 (B)                     | 百万円<br>1,373 | 百万円<br>965 | 百万円<br>843 | 百万円<br>832 | 円<br>25,467  | —                    |
| 増減額 (B) - (A)                  | 百万円<br>—     | 百万円<br>▲11 | 百万円<br>▲11 | 百万円<br>333 | 円<br>10,200  | —                    |
| 増減率                            | —%           | ▲1.2%      | ▲1.3%      | 66.8%      | 66.8%        | —                    |

(注 1) 上記は、現時点における運用状況の予想であり、実際の営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益および一口当たり分配金は変動する可能性があります。また、本予想は分配金の額を保証するものではありません。

(注 2) 予想期末発行済投資口数は 32,700 口です。

(注 3) 増減率は小数点第 2 位以下を四捨五入して表示しています。

2. 修正理由について

本投資法人第 5 期（平成 20 年 4 月期）運用状況の予想につきましては、平成 20 年 3 月 27 日付「第 5 期（平成 20 年 4 月期）運用状況の予想の修正に関するお知らせ」におきまして上記のとおり発表しておりましたが、その前提条件におきまして、第 4 期（平成 19 年 10 月期）に引き続き税法上の導管性要件への抵触により利益の配当の損金算入ができなくなり、本投資法人の税負担が発生する見込みとして予想をしておりました。しかしながら、今国会において成立した租税特別措置法の改正において税法上の導管性要件の一つである同族会社要件が緩和され（「<参考>①税法上の導管性について」ご参照）、現時点にお

いては、本投資法人第5期（平成20年4月期）末において税法上の導管性要件を充足する見込みとなったことから、利益の配当の損金算入を行う前提条件に変更することにより、第5期（平成20年4月期）の運用状況の予想を上記のとおり修正します。

ただし、これまでに提出された大量保有報告書によりますと、本投資法人の投資口を最も多く保有する Prospect Asset Management, Inc.の保有比率は45.59%（平成20年2月15日提出）と、同族会社要件である50%に迫る水準であり、今後の同社の動向によっては同社による保有比率が50%を超え、本投資法人第6期以降再び税法上の導管性要件に抵触する可能性もあります。今後も同社の保有投資口の状況に大きな変動が生じた際には改めてご報告申し上げます。

#### <参考>

##### ①税法上の導管性について

税法上、一定の要件（以下「導管性要件」といいます。）を満たした投資法人に対しては、投資法人と投資主との二重課税を排除するため、金銭の分配のうち利益の配当から成る部分の金額を投資法人の損金に算入することが認められております。これまで、導管性要件の一つである同族会社要件とは、事業年度終了時に同族会社に該当していないこと、すなわち発行済投資口の総数が上位3位以内の投資主グループによって50%を超える投資口を保有されていないこととする要件でしたが、今国会において成立した租税特別措置法及び租税特別措置法施行令の改正により、同族会社要件が「上位3位以内の投資主グループ」から「上位1位の投資主グループ」に緩和されました。

##### ②これまでの大量保有報告書提出状況

| 提出日        | 提出者                             | 保有投資口   | 保有割合   |
|------------|---------------------------------|---------|--------|
| 平成19年1月10日 | Prospect Asset Management, Inc. | 10,621口 | 32.48% |
| 平成19年1月11日 | JPE Capital Management Limited  | 3,143口  | 9.61%  |
| 平成19年1月18日 | 日興アセットマネジメント株式会社                | 2,433口  | 7.44%  |
| 平成19年4月20日 | Prospect Asset Management, Inc. | 10,960口 | 33.52% |
| 平成19年5月9日  | JPE Capital Management Limited  | 2,643口  | 8.08%  |
| 平成19年6月7日  | 日興アセットマネジメント株式会社                | 2,107口  | 6.44%  |
| 平成19年6月14日 | Prospect Asset Management, Inc. | 11,357口 | 34.73% |
| 平成19年6月28日 | Prospect Asset Management, Inc. | 11,749口 | 35.93% |
| 平成19年7月5日  | Prospect Asset Management, Inc. | 12,219口 | 37.37% |
| 平成19年7月18日 | Prospect Asset Management, Inc. | 12,649口 | 38.68% |
| 平成19年7月31日 | Prospect Asset Management, Inc. | 12,976口 | 39.68% |
| 平成19年8月17日 | Prospect Asset Management, Inc. | 13,401口 | 40.98% |
| 平成19年9月28日 | Prospect Asset Management, Inc. | 13,737口 | 42.01% |
| 平成19年10月5日 | 日興アセットマネジメント株式会社                | 1,979口  | 6.05%  |
| 平成19年12月5日 | Prospect Asset Management, Inc. | 14,063口 | 43.01% |
| 平成20年1月8日  | Prospect Asset Management, Inc. | 14,393口 | 44.02% |
| 平成20年2月15日 | Prospect Asset Management, Inc. | 14,909口 | 45.59% |

(注1) 本投資法人の発行済投資口の総数は32,700口です。

(注2) 保有割合は小数点第三位を四捨五入して表示しています。



Financial Real Estate Investment Corporation

- (注3) 平成19年10月5日に提出のあった日興アセットマネジメント株式会社につきましては、共同保有者日興シティグループ証券株式会社の保有する投資口数(76口)との合算数値を記載しております。
- (注4) 大量保有報告書は、金融商品取引法に基づき、発行済投資口の総数に対し5%超の投資口を保有することとなった投資家に提出が義務付けられております。また、その保有割合について1%以上の増減があった場合に変更報告書が提出されます。そのため、各提出者につき提出日以降に1%未満の増減がある可能性があります。

以 上

- ※ 本資料の配布先：兜クラブ、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会
- ※ 本投資法人のホームページアドレス：<http://www.fcric.co.jp>